

魔王姫は
好意が弱点





し：鎬木さん
おはよう!

えっと...

何か用?

あ：いや

挨拶
だけだった

...そう
オハヨ
じゃあね



僕は彼女に
惚れている

良かった！
返事して！
もらえた！



鍋木
照

『魔王姫』という
通り名でこの辺りでは
かなり有名な人だ

機嫌を損ねた
人は全員
病院送りとか

一人だけで
何十人もの
不良チームを
潰したとか

ウワサとか
伝説だったり
が語られて

実際噂に違わぬ
雰囲気をも
とっている

同じクラスに
なった時は
終わったと思





…とまあ

荒れた一年に
なるのかと思いきや
そんな事はなかった

オミ

オハヨウミ

場を乱すような
行動はしなかったし
挨拶も返す



たまに生傷を
つけて来る事も
あるけど

遅刻や
無断欠席は
今のところ無い



もちろんちゃんと
授業に出ていて
成績も良い



同級生たちも
そう感じて
いたんだろう

初日の空気は
この世の終わりの
ようだった



むやみやたらに
怯える必要は無いが
なるべく関わらない

周囲の方針は
そんな感じで
落ち着いた

…でも僕は
不思議と彼女の事が
気になっていった



次第に僕含め
全員が安堵
していった

…もちろん
ビビっては
いるけど





ご飯を食べる
姿にも
目が離せない



所作の全てが
魅力的に
思えてくる



その後は…
彼女を目で追う
ようになった



そう感じたあと
食べた物が予想外に
美味しかったのか

表情が一瞬
ほんの少し緩んだのを
見てしまった時

僕はやっと彼女に
惚れていた事を
理解した



おおーう良人
今日もやってんな！
マジですげえわ

それからはなんとか
彼女と仲良くなる
きっかけを探している

すごいって
ことは無いよ

まだあんまり
話せてないし名前も
覚えてもらってないし…

いやいや
すげえって！

最近じゃお前
『勇者』って
呼ばれてるんだぜ？



冗談のつもり
だったけど
マジかよ…

あの魔王姫
相手にねえ…

鎬木さんは
魔王って感じ
じゃないよ



近寄りにくいけど
上品で礼儀正しいし
それに…
すっごく可愛い



いや…うん
お前勇者だ
いくら美人でも
おっかなくて
俺はダメだわ…

おおーう…



てか何で
そうしてんだ？
まさか
惚れちゃった？

…分かる？



勇者ねえ...



勇気を持って話して
もつと鍋木さんに
認識されなきゃな！



惚れてる癖に
いざ声を掛けると
ビビってしまう

挨拶くらいしか
出来ないんじや
全然ダメだ



あんた最近
よくあたしに声を
かけてくるでしょ

…え？



それが何の
目的でやってんのか
って聞いているの

えっと…僕
鎬木さんと仲良
くなりたいって…



仲良くなって
それで？

そ…
それは…



鎬木さん
おはよう…！

…何が目的？



悪いけど
うんざりなの

あんたみたいに
顔色伺いながら
話しかけてきて

自分の都合に
あたしを巻き込もうと
してくる連中は



じゃあ何？

……

こんな空気で
惚れているなんて
言えるわけがない



どうせ何かの面倒事に
力を貸して欲しいとか
考えてるんじゃない？

そ…そんな事
考えてないよ！



そもそも
荒事が好きな訳
ないじゃない

今までも勝手な
印象で因縁
付けられて

どうしようも
なくなっただけ
対処しただけ



いつもそう…



もちろん何度も
我慢したり無視
したりもした

…でも
あたしみたいに
目立つ見たいに
してる奴には

何やっても
良いって思われて
收拾が付かなくなる



もう放って
おいてよ…



何が伝説よ
バカじゃないの

変なあだ名
付けて勝手に
盛り上がった…

絡んで来る奴
アテにくる奴
全部大嫌い…!!



ぼ…僕は
ただ…

…何が目当てで
仲良くしたいか
知らないけど

興味ないし
手を貸す気も
一切無いから



『おはよう』
じゃあね



どんな思いを
してきたかなんて
考えていなかった

彼女が今まで
どういった目を
向けられてきたか



挨拶を返して
くれたり目を見て
話すのも

きつとトラブルを
避ける為のもの
だったんだろう



自分本位な感情で
認識して欲しいと
動いていただけ

それに
比べて僕は



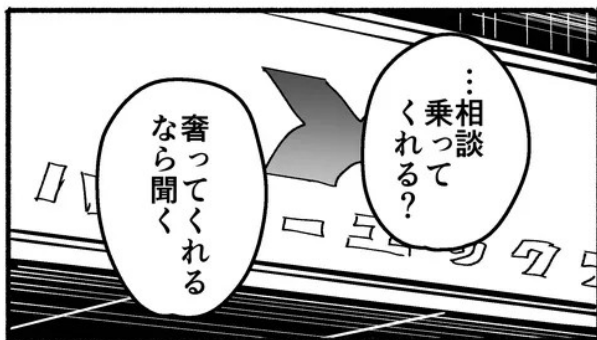
それで仲良く
なれる訳が
ないよな…



それ以前の
問題…

ハア…

なんだそりや



…相談
乗って
くれる？

奢ってくれる
なら聞く



…おい

おい良人

ここんところ
ずーっとそんな
調子だけどさ

どうしたんよ
魔王姫に
フラれたか？



…なるほどな
そりやキッツいわ

てかそんな風に
詰められてよくまだ
好きって思えるな…





あれから
しばらくジムに
通いつづけている



正直これが
解決策なのかは
分からない



まあでも
気分は晴れるし
結構悪くない











行って!

何してくれてんのお前



ねえボクう?
俺等今この娘と
話してんの

関係ないのに
しゃしゃり出て
来ないでくれる?



うわ殴った!

警察呼べ!

場所変えるぞ



感動で泣きそ

はあ!?
魔王姫!?

へえ
あんたらみたいなの
タマなしにも
顔知られてるんだ...



ああ?
女あ?

あいつ...
魔王姫だ



それ以上に
苛ついてるん
だけど

...まあ

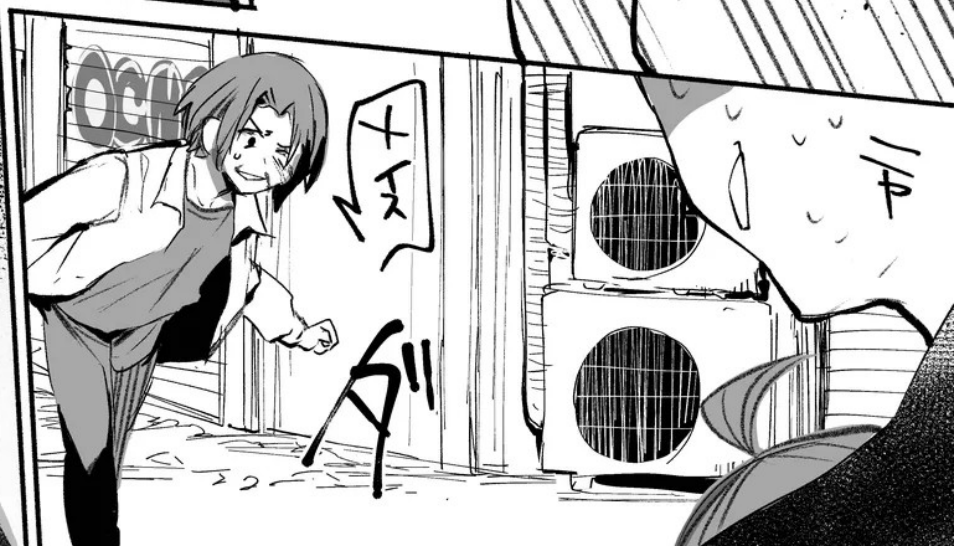


何が魔王姫だよ
所詮は女一人
じゃねえか!

丁度やれる女
探してたんだ



困^まんでボコった後
輪姦^わしてやる！





折れては
なさそうだけど…
無茶したわね

ありがとう
鎬木さん

本当に…
あのままだと
危なかったよ

…でも
どうして
あそこに？

…まあ
偶然ね

あんたが助けた
女の子…

どうかあんたを
助けて欲しいって
声を張ってたの

さすがに放って
おくわけにも
いかないし

話聞いてた
駆けつけた
って感じ

それにしても…
まさかね…

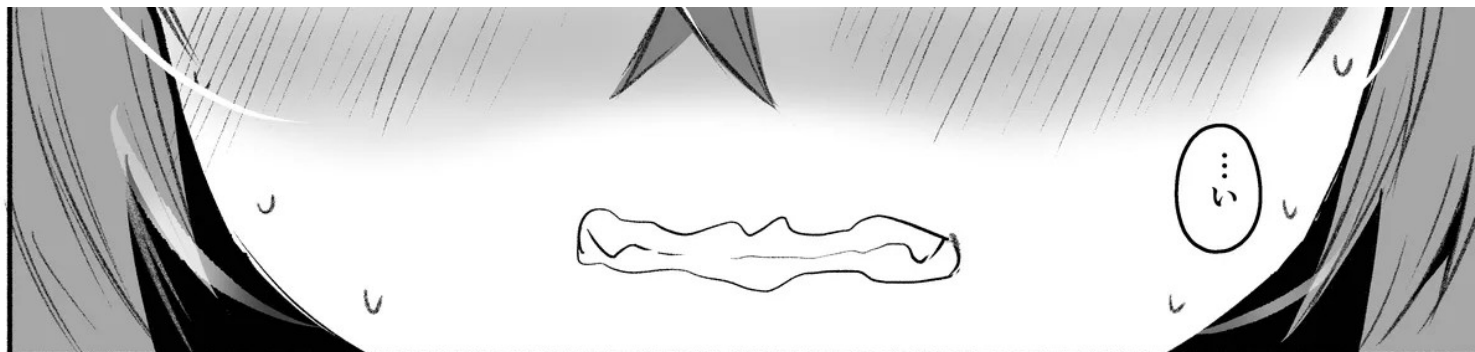
？

鎬木さん？











とにかく帰って
はやく休みなさい！

家まで送るから
道案内以外で
喋らないで！

何か違和感が
あったらすぐ病院へ
行きなさいよ！

何もなくても
明日は絶対
診察受ける事！

わかった!?





いってきまーす

キ



おはよう!

もしかして
待ってて
くれたの?



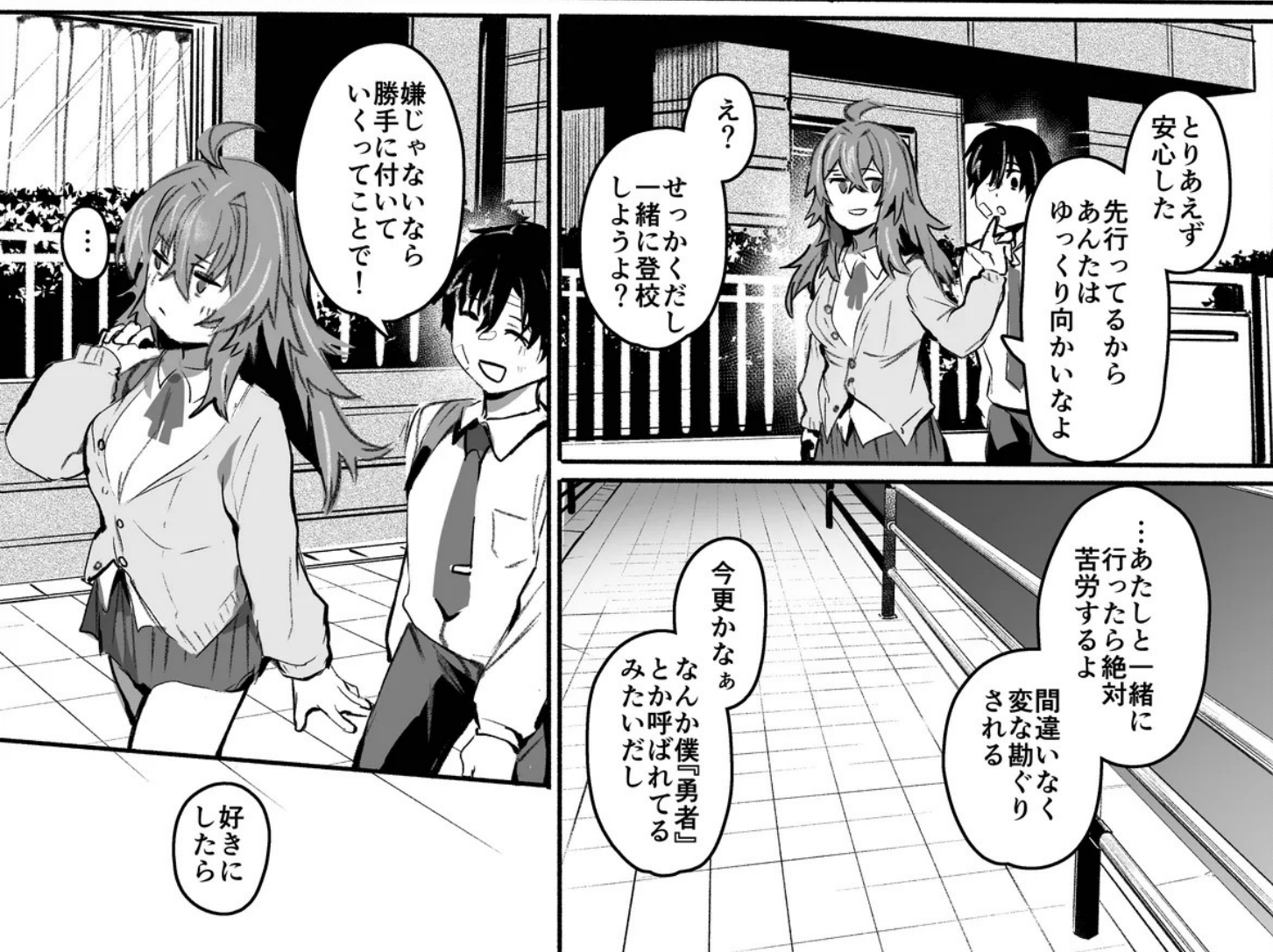
…待ってない

週明け
様子見るとは
言っただけ…



鍋木さん!

お…おはよう





勇者
ボコられ
てんじやん

怖え

うお…
マジか…

ざわ
ざわ



やっぱり
おつかねえわ
魔王姫…

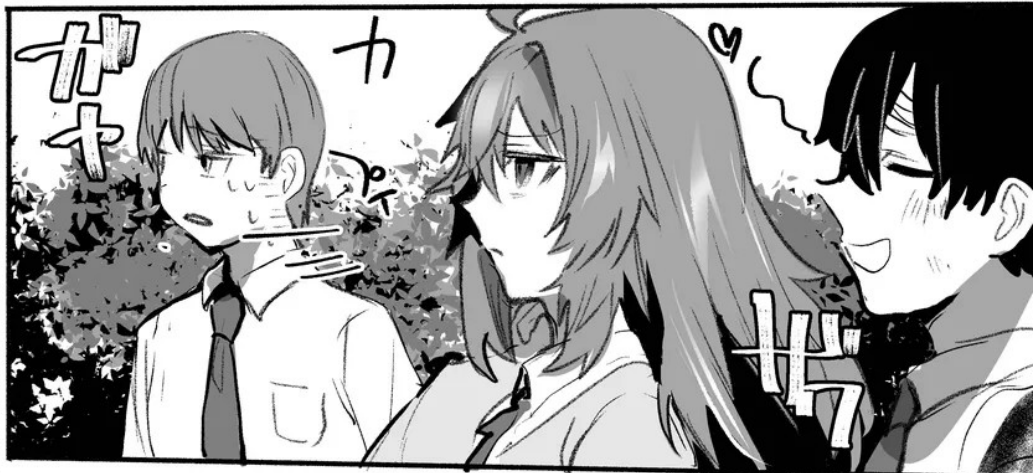
もしかして
アレ見せしめ？

配下
というか
奴隷？



ほら言った
通りでしょ？

それ
だけどさ



近寄らんとこ…

アイツもう
笑うしかない位
心折られてるよ





目が合っても
逸らされる

オハヨ...

ここしばらく
鎬木さんから
避けられている

挨拶は返して
くれるけど...
すぐその場から
離れてしまう



ハア...



...また?

おい良人
お前のこと噂に
なってるぜ



失礼だな!!

それで付いた
呼び名が
『無限残機君』



お前が魔王姫に
ゾンビアタックを
仕掛けまくって

魔王姫の方が
音を上げて
しまったとか

そんなに
しつこくして
ないよ! 多分...



...でも

本当に鎬木さんから
うんざりされて
いたらショックだな...

切峰

切峰

"鎬木さん!!"

…このあと
予定ある？

無い！

無いよ！

喜んで!!

じゃあ来て

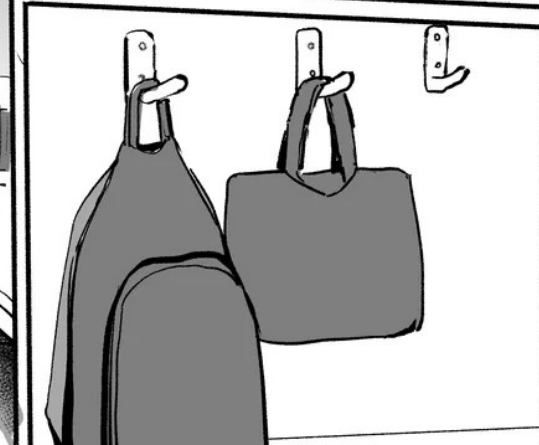
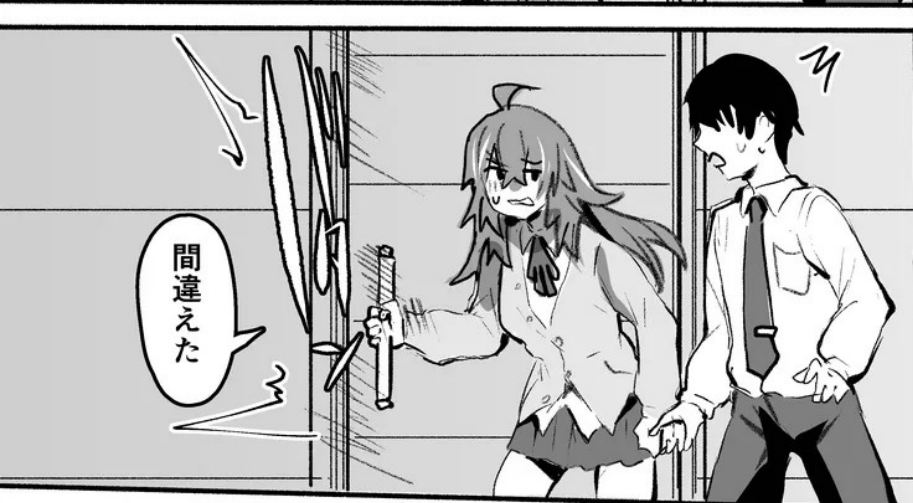
最終決戦…

無残君
逝ったか…

魔王姫…
いい加減しびれを
切らしたか？







…そうだ

鍋木さん一人で
住んでるって事は
ここはもう
二人きりの空間…！



一体なんの
話をされるん
だろう

告白の答え？
これは期待して
良いのか…！？

…切峰

はい！

…

あ…

あたしの事
好きならさ！

はいっ
大好きです





あたしの事好きなら
おまんこ舐めろって
言ってるのお!!

おまんこに
決まってるでしょ!!

ごめんなんだ



????????
????????
????????

????????
????????
????????



…なのに

あの時確かに
仲良くなりた
思ってたけど…

付き合うなら
あんたみたい
ひよろっちは
タイプじゃない



この間から
ずっとあんたの事
ばかり考えちゃう

意味分かんないし
ムズムズする…!!



…おかしい
絶対に納得
できない



でもそれって
あんたでオナニー
してるって事じゃん



…そりゃ
もちろん

このむず痒さを
自分でなんとか
しようと思った



だから
これは勝負



でも
受けてたつよ!

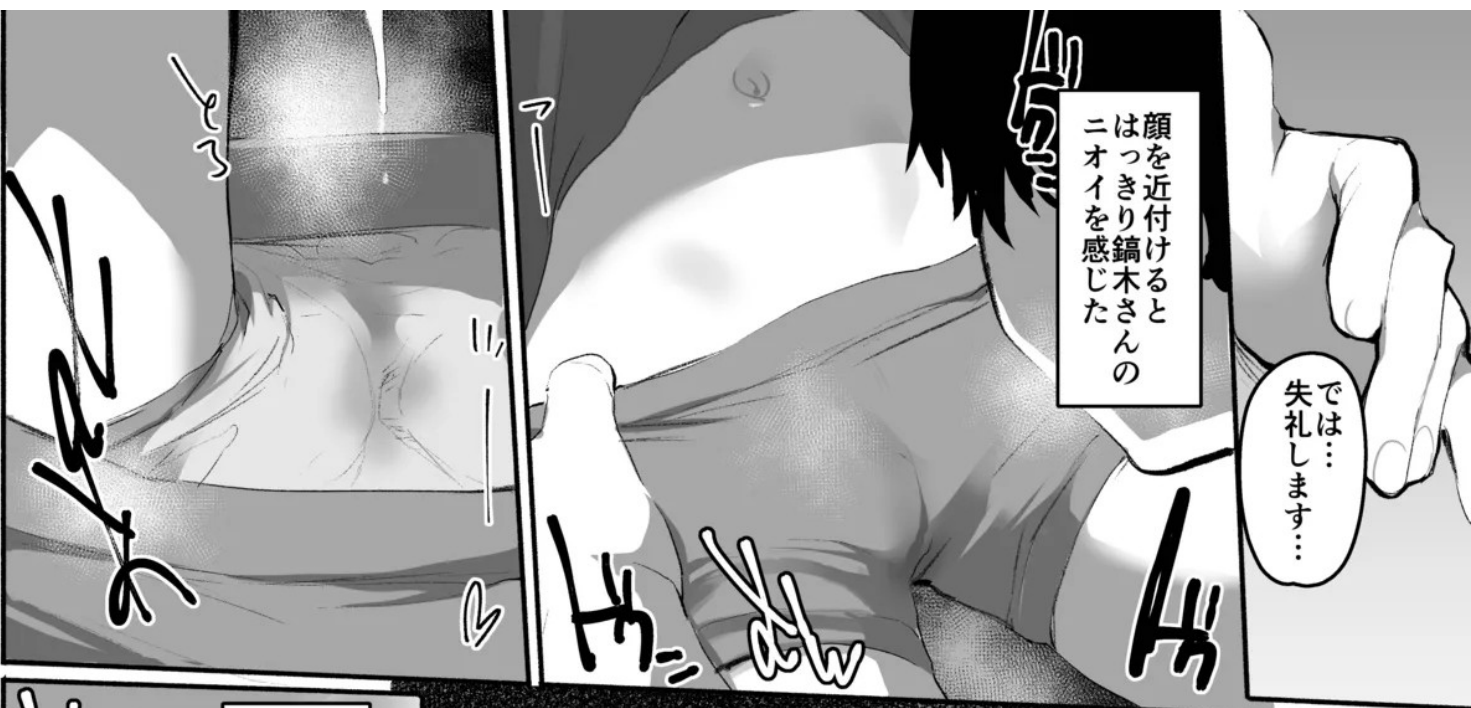
むしろ
ありがとうございます!!



なるほど!!
訳わかんないね!

あたしの事を
好きなあんたが
おまんこ舐めて

あたしがイかなきゃ
あんたの負けって事!



顔を近づけると
はつきり鍋木さんの
ニオイを感じた

では…
失礼します…



漂うニオイが
更に強く僕を
誘っている

…切峰



…なんか
言ってるよ

あまりにも
エロくて
言葉にならない



変じゃない…？

…えっと







口づけの後
舌を潜らせると
押し寄せてくる

芳香とは
とても言えない
強烈な生の味



最高！
超美味い！！

惚れてなきや
味わいたいなんて
思わないだろうが











ぶっちゃけると
触られた時点で
出そうだった

でも勝負らしいし
限界まで我慢
しなくちゃダメだ

それに…

あの鎧木さんが
僕のチンポを
舐めてるなんて…

幸せ過ぎて
ずっと
見ていたい

やっぱり無理！





た...っ

大したことないわね
すぐイツちやって!!

それなんだけど...

異議あり?
聞くわよ!!

僕は鍋木さんに
してもらって
超嬉しいから...
正直これただの
ご褒美なんだよね...

もし比べるなら
回数とかが
良いんじゃない?

先にどっちが
限界まで
イくかとか



そうね...
レギュレーションは
決めておかなきゃ

なによ
まだそこまでする
してないわよ...

そ...それに
今は
小手調べだし

あたしだって
これが勝ちとは思
っていないわ

やった!

じゃあ
ここからが
本番だね!

今日はこのくらいで
勘弁して
おいてあげる!!



これはあんたを
勝負から逃さない
為なんだから！

あたしを本気に
させたからには
後悔しても遅いわよ

絶対に負かしてやる！！

何の勝負
だっけこれ

ムッ

ムッ

ムッ

新しい

鎬木 照

本日 反をちた返かきまをし



あ

い

い

それから
鍋木さんと呼ばれた
勝負するようになった

は

あ

あ

い

週に一回だったり
三日続けての
時もあったりする

ふふん

どんなもんよ

上手...

い



次はあんたの番

ほら

は

失礼します！

チリ

チリ

カニ

カニ

チン

カニ

チン

カニ

チン

チン

カニ

お互い服が汚れないように裸になって

シーツを二重に敷いたベッドの上でその周りでする

意外と細かく決めてやっってる

本当に何の勝負なんだ

は、

は、

し…

鎬木さん胸大きいってっ思ってたけどっ

脱ぐと…もっとすごいねっ

動きにくくて普段キツめのブラしてんの

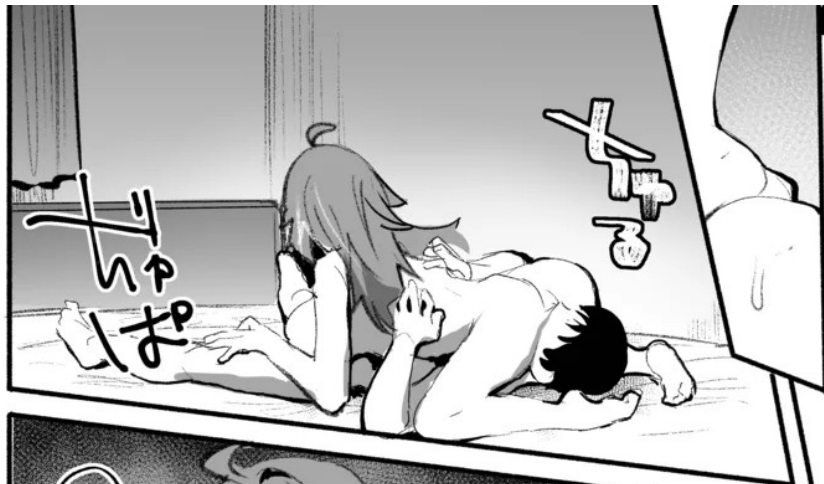
初めて大きいのが役に立ってるわ



あ…ありがとうございますっ





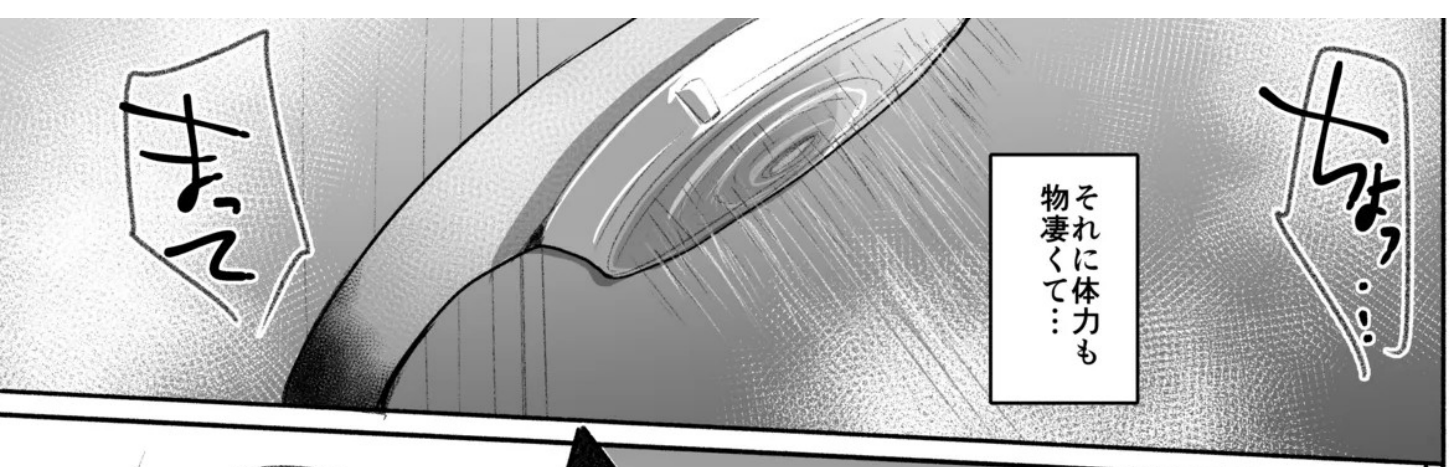


幸せの日々
ではあるけど

はっ
鎬木さんの上達が
恐ろしく早くて
かなり負かされている

限界…

ふうん…？
今日はこれで
勘弁してあげる



七はっ...

それに体力も
物凄くて...

まっ

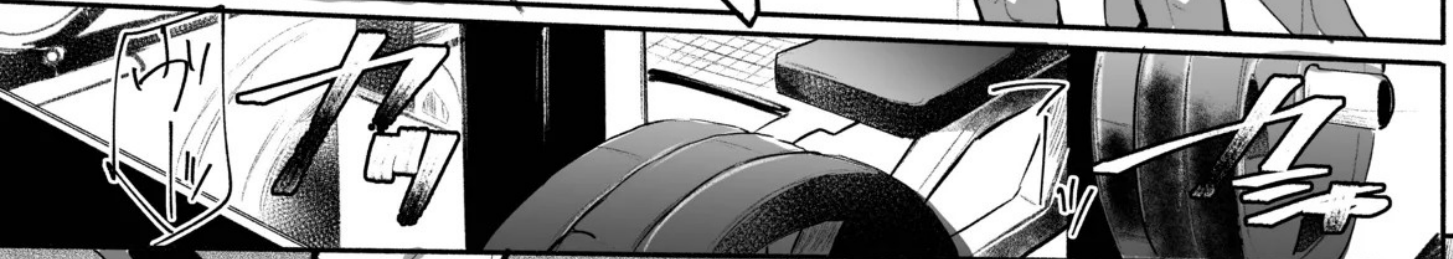


もう限界
だってえ!!

勃ってんだし
いけるでしょ

ほらね

容赦なく
搾ってくる

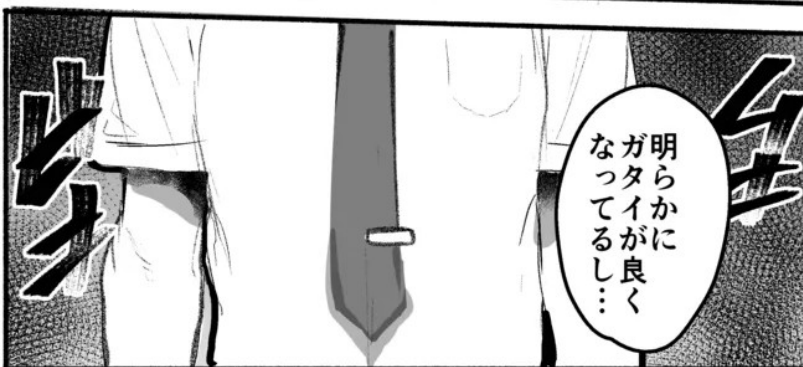


なので
勝負が無い日は
とにかく
身体を鍛えた

絶対
負かして
やる!!

ヤキ

ヤキ



前に鍋木さんは
魔王って感じじゃ
ないって言ったけど

…あれ
撤回する

『魔王姫』…
最初にそう呼んだ人
センスの塊だ

頭容姿全部良く
技と力両方備えて
容赦だけが無い

おお…

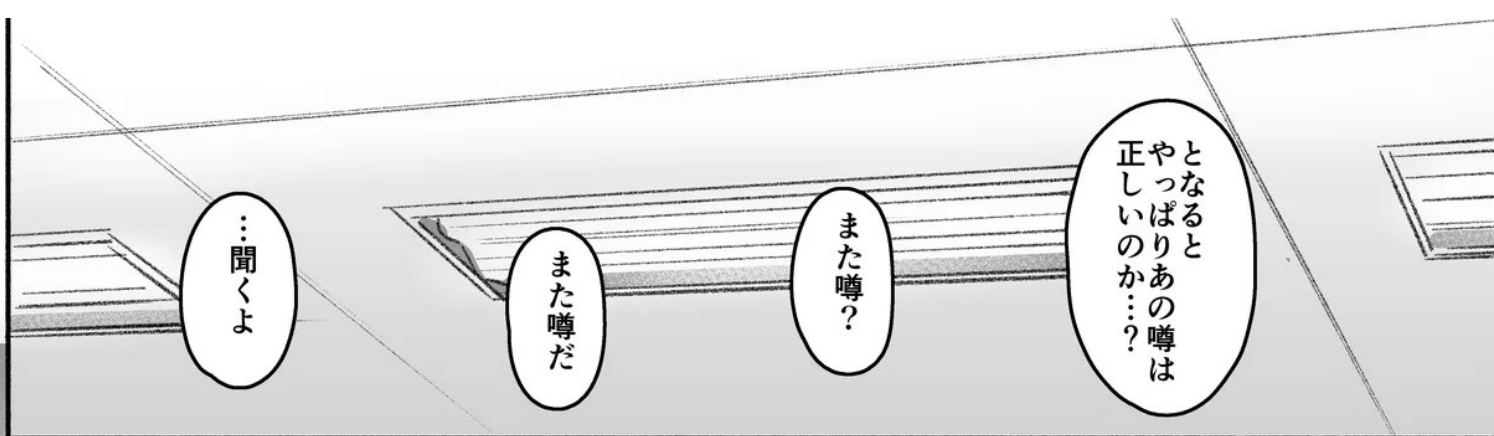
でもだからこそ
僕は勝ち切りたい

もっと強く
魅力的になつて…
彼女を落とす！

惚れた相手が
最強で良かった…！

勇者無残様…

また変な呼び名に
なってる！？



となると
やっぱりあの噂は
正しいのか…？

また噂？

また噂だ

…聞くよ



最近魔王姫の
表情が穏やか…

というか笑顔で
過ごしてるんだ

嘘でしょ!?
同じクラスなのに
僕見たこと無いよ!?

まあ続きも
聞けよ

以前と比べ
怪我をして来る
こともなくなった

それは
そうだね!



それは
『勇者無残』という
好敵手を得たことで

今までより何倍も
早くレベリング
しているからだとか

…つまりあれは
丸くなった
訳ではなく

強者の余裕

他の連中じゃ
ということだ







違うから!!

!!!!!!

そういえば
どこに
行くの?

…限定パフェ
食べに

良いね
パフェ!

僕も一緒に
良かったの?

…カップル
限定なの

カップル限定?
そりやまた
ベタな…

……

とにかく!
早く行かなきゃ
売り切れちゃう!

ハイ!!

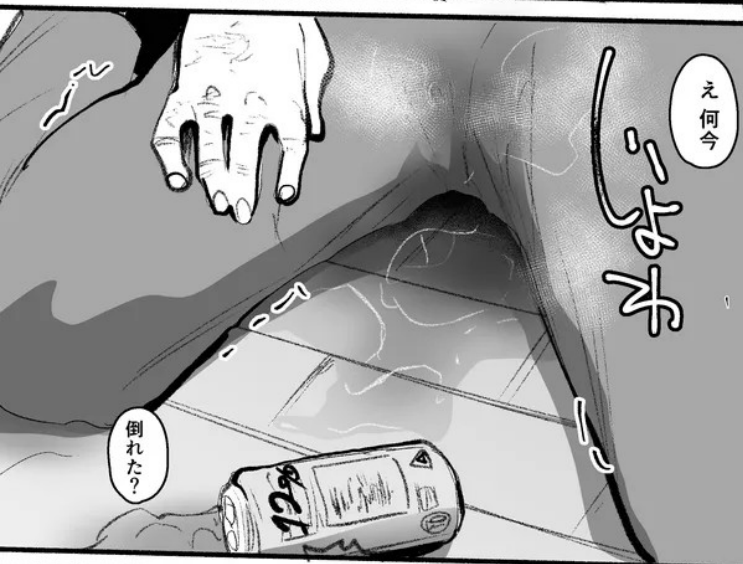
パフェは
超美味かった

本当に
美味かった

提供期間中
は必ずもう一回
行く事になった









いいの！

はい…
鍋木照です
今日は突然
お邪魔して
すみません

待ってたわよ
あなたが
鍋木さんね！

いらっしやーい！

よう

お邪魔しま…



あと並べるだけ
だから座ってて



いらっしやい

お父さんと
張り切って用意
したのよー！



やっと良人が
彼女連れて
きたんだもん

母さん…
そうあって
欲しいけど
まだ…！！

？

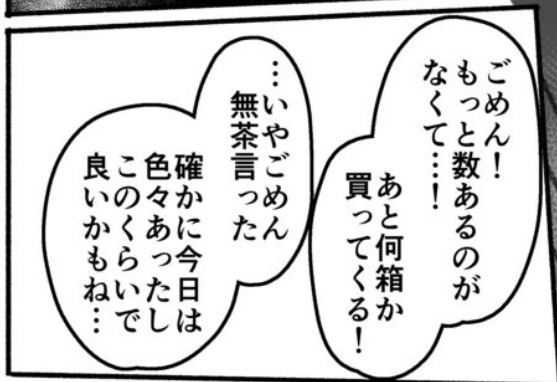
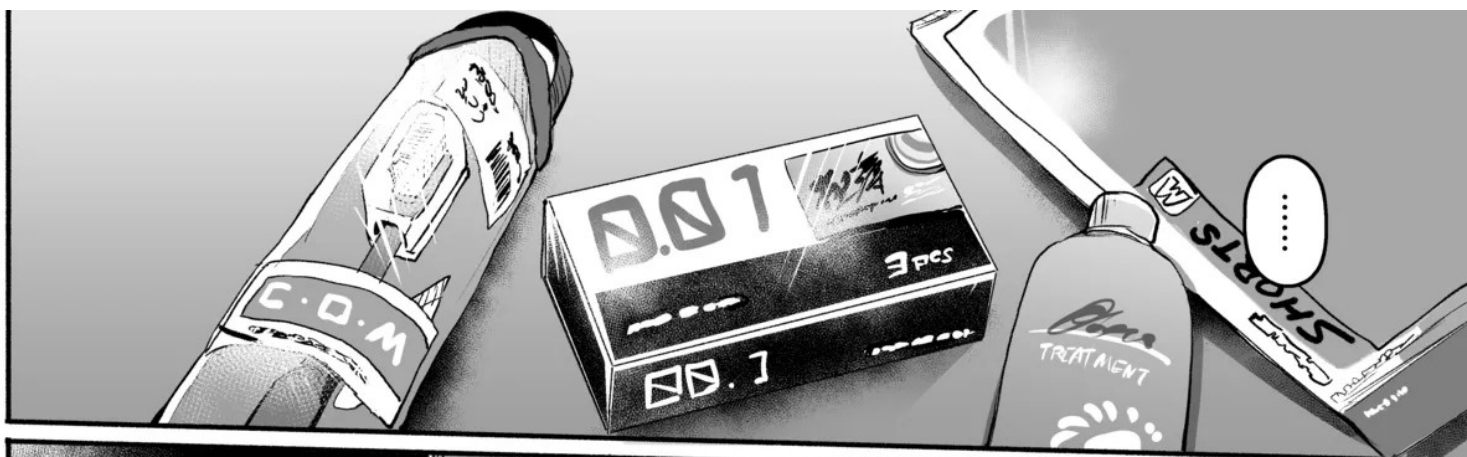


いただきます…

はいどうぞ！
遠慮なく
食べてね！









はっ

はっ

グッ

グッ

グッ

グッ

痛い?

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

びっくり
しただけ...



大丈夫?

…うん

正直ちよっと怖かったけど…

やってみるとそんな大した事はないのね…

へえ





やっぱ
足りないかも…

あと二個…



今回は
これで勘弁
してあげる

ありがとう
ございました…



そっか

今日の
あんたはまあ…
及第点ね

キスいいの!?

ほ…ほっぺ
だから
ノーカンよ

なるほど
そうか…

じゃあ僕も
次からそうす

ダメ!

あんた
からはダメ!!



勝負
だった?

…最高



すっごい
よく眠れた…

あんたさ…
かなり抱き心地
良かったわ…

光荣!!

毎日抱いて
寝てもいいよ



…ねえ

また泊まりに
来ても良い?

もちろん!

…あ

でも家族が
居る日は

居る日が
良いな

…もちろん
お邪魔じゃ
なければだけど



……

あんたもよく
知ってる
だろうけど

今ウチに
住んでるの
あたし一人
なのよね

パパもママも
忙しい人でさ

色んなところ
飛び回ったり
離れてたり…

小さい時は
転校とかも
良くしてて

目立つ
見た目で
浮くし

周りが
慣れる前に
また転校



…別に愛情を
感じない
わけじゃない

むしろ
普段会えない分
気をかけてくれる

でもまあ…
居て欲しい時には
居ないんだけど



鍋木さん…!

代わりには
ならないけど…
あんたの家族の
中にあたしが居ても
良いんだって



だからさ…
昨日夕飯誘って
もらったのも
歓迎して
くれたのも
嬉しかったんだ



ちょっと
待って

本番は時間が
たっぷり
要るから
他に誰も居ない
ウチのが都合
良いでしょ?



もちろん…
居て良いん
だよ…!

そういう
訳だから

勝負の日は
ウチに泊まる
ってことでね

え?



パパが
帰ってきた時
使ってたの

ちなみにいつも
勝負してる部屋ね



あとねここだと
あんたにペース
握られそうだし

なーんか勝負が
うやむやになる
予感がすんの!

いやじゃ
そうじゃ
なくて

それにあの
だだっ広い家…

どうにかして
使い倒さないと
腹立つのよ!

泊まるけど
ここじゃ
シないって話よ

心温まる話を
してたんじゃ…

自分の居ない間に
ヤリ部屋に
されてやんの!
年に三日くらいしか
居ない奴が悪い!
ばーか!

数日後
勝負に本番が
追加された

予告通り
休日前の晩は
鍋木さんの家
に閉じ込められ



以前にも増して
たっぷりになったし

お義父さんの
ベッドも目茶苦茶に
揺れまくる









それが今年は
こんなに穏やか

ぶっちゃけ
あんたのお陰だと
思ってる

ありがと

...というか最近
本当に平和に
過ごせてるのよね



どっ...

どういたし
まして...

それで...

話は戻るん
だけどさ...







今日は
着けなくて
良い…

…ううん

着けずに
したい…!



…良いの?







そうして
ほしいから
生なのよ

出したいなら
好きなら
出して良いよ

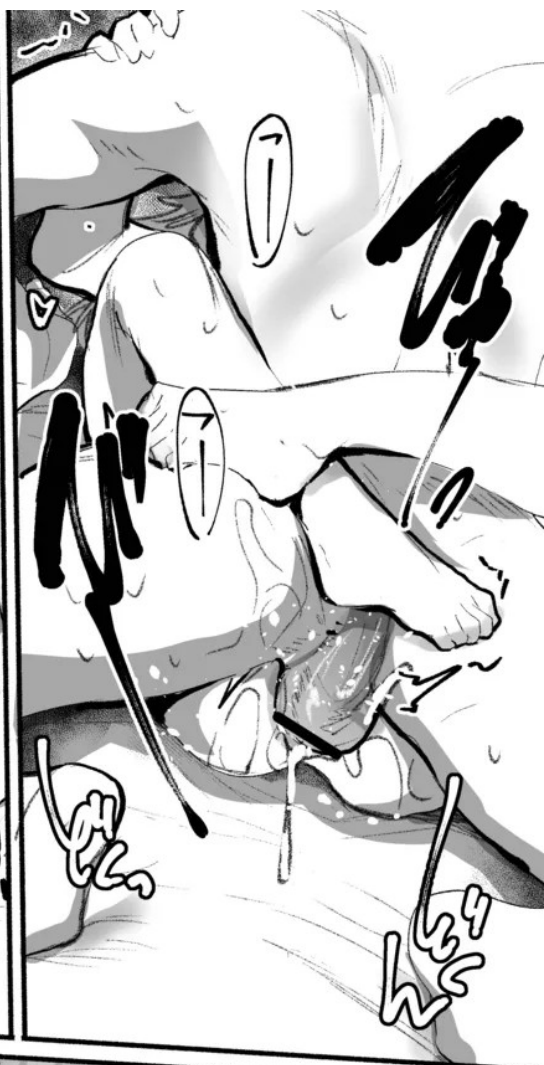
あたしの中を
あんたで
いっぱいにして

あたしも
満足するまで
離さないから

勝ち負けは
もう頭には
なかった







良人：
全部あんの
お陰よ

は

あんたが
あたしを好きに
なってくれたから



そして：
あたし好みに
育ったあんたを

平和な日々

周囲の理解

もう一つの
帰る場所

あたしがずっと
欲しかったもの
全部手に入った♡



…素直になったら
抑えられなくな
っちゃうた

す

…うん

良人があたしに
好きって言って
くれた日から

きつとあたしは
良人が思う以上に
良人に惚れてた

はっ

…本気にさせた
からには
覚悟しなさいよ？

しゅ

逃さないから♡

終

あとかぎ



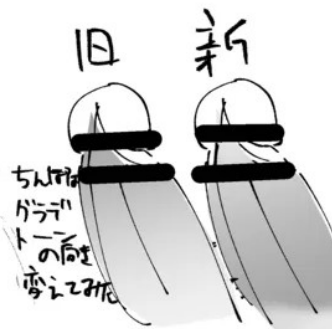
主人公が照れ隠して殴らないようにフィニカル強めなツンデレ
ヒロインのえるまんがを描きたいなと思って本作をやりました。
好意に対して暴走してまん紙めさせる所から入るのは決めていたの
ですが、どうやら主人公がヒロインに好意をほのきり伝えるかを考えたら
導入でテーマが40Pになってしまった。やっちゃった。

個人的には本作は18禁なだけの普通のラブツキでは？と
思っていた。今まで一本の作品で最も多いページ数は
45Pくらいだったのに100Pという量は本当に未知の戦いでした。
他にやることもやっていったとはいえ2ヵ月も本作のことを考え続けたのは
とてつもない経験でした。反省点や改善点も多く見つかったのに
今後の制作に活かしたいと思っています。しかし100Pはマジで大変。
超疲れました。10日あたり24P描けるんだが単純に4倍といわなければ
事もありましたが、その中でも長くかかったところにもあります。
まあ、面白かったのにまた100Pくらいの作品描きたいです。

本作はちやうの感情変化が
メインでエロパート自体は
比較的少ないが
その分ちんちんとまん
として陰毛には特に心と
力をこめて作画しています。

毛の陰毛をまんちんとさせる

この部分の
くぼみがい
好き
(しかし難しい)



大陰唇の
ぷっくり感を
追究することが
生涯の課題

ちんちんのハイライト入る時
本当に辛そうですね。

おわり



おまけ：設定画1

髪色 → 赤色

結構
おツメに
胸おどろ

デカイと
思われて
脱ぐと
更にデカイ

目より
手より
可愛

顔と手の甲、指は
よく怪我してる
(トランスに巻き込まれる)

何かまた翌日は
めっちゃ陰い顔してる

陰毛
全々すげえ
バツリモササカ
良い

×モ
後から靴下も白くした方が良かった？と思って
作画中に減りました。
ホニテは本文SPDだけの予定でしたが
私服でも描くことになった(アメリカ作画)

おまけ: 設定画2



o これい 大体のイメージは決まって、ネームやら100Pになりました。

